

東京都病院協会 会報

Alico アリコジャパン
 アメリカン ライフ インシュアランス カンパニー

東京都病院協会
 医療共済制度 引受保険会社

東京都墨田区錦糸1-2-4 アルカウエスト18F
 アリコ ジャパン 全国法人開発部
 TEL(03)5619-3827

2010年(平成22年)10月22日

第162号

毎月1回 定価 200円(会員購読料は会費含む)

発行所: 一般社団法人東京都病院協会 / 発行人: 河北博文 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館内306号
 TEL:03-5217-0896 / FAX:03-5217-0898 / URL: http://www.tmha.net / E-mail: tmha@mri.biglobe.ne.jp

平成二十二年十月二十九日(金) 締切り

第六回東京都病院学会

演題・ポスター発表募集

昨年は六十演題、
二十三ポスター発表の応募

東京都病院学会の主役は、言うまでもなく会員病院職員一人一人です。具体的には、多勢の職員に参加していただき、数多くの演題やポスター発表を行って、自由闊達に話し合い、会員同士の交流を計ることです。理事長、院長を始め、病院管理者の積極的なご支援をお願いします。

昨年度の学会では、六十演題、二十三ポスター発表があつて、学会の参加者も五百名以上で、いずれもこれまでの最高となりました。

演題応募は、看護部門が最も多く二十七演題で、次に、地域連携部門(東京ルーラル含む)が九演題、病院管理部門が八演題、その他医師部門、事務部門、薬剤・画像診断・放射線・臨床工学部門、リハビリテーション部門等、各四演題づつで、総計六十演題がありました。

ポスター発表は、初めての試みでしたが、二十三の演題がありました。いずれの発表も、現在の病院も抱えている近々の話題をテーマとして、それらのテーマに積極的に取り組んでいる様子がうかがえる有意義な発表の連続となりました。

今年度は口演六十演題およびポスター発表を募集
十月二十九日(金) 締切り!

本年度の学会も、昨年度の学会に増して、会員病院各位の積極的な応募を期待しております。詳細は、すでに配布されており、ご案内の通りで応募要項に従って平成二十二年十月二十九日(金)まで、当協会事務局までお申込下さい。

本年度も昨年同様に、一般演題の応募は、会場のスペース、開催時間の制約などから、六十演題の応募としましただが、ポスター発表は、大幅にスペースを拡大して募集しております。また、今回新しく追加されたカテゴリーとして、「院内暴力」、「病院における環境への取り組み」があります。

また発表内容が未整理の状態でも、抄録原稿の提出期限は十二月十七日(金)までとなっていますので、とりあえず「演題名」と「演題カテゴリー」だけでも締切り期限までにご連絡ください。

本学会の主題の意図とは?
「医療現場は護られているか
働きやすい職場を創るために」

今回の学会主題を一読されて、皆さんはどう思われるでしょうか?

恐らく多数の方が我が国の医療を取り巻く環境、とりわけ医療経済環境の向上を国あるいは東京都に要望する内容の学会(集会)と受け止めておられるのではないかと思います。しかし、主催者の意図するところは他にありません。詳細は、学会長中西泉(町田慶泉病院理事長)の開催挨拶文をお読み下さい。

私たちの医療環境は確かに医療崩壊、秘密には医療機能不全という現実として目の前にあります。しかし、昨今の世界規模で起こっている経済変動の中で、外圧(国や行政、国民)に期待していれば自分たちの環境は良くなるのでしょうか?この点を今回は問いたいと思っています。

私たち医療・病院関係者は、こうした状況の中でも決して手をこまねいて来たわけではありません。
「医療技術の向上」、「医療連携の推

進」、「医療安全と質の向上」、「院内感染」「情報の開示」、「個人情報保護」、「電子カルテ、レセプト等のIT化」その他としては病院老朽化に伴う耐震化、増改築等々、病院は多大なコストとマンパワーを投入しております。
しかし、このような大きな努力にもかかわらず医療を取り巻く環境は、悪化し、病院は疲弊しています。

私たちが恐れるのはすぐれた人材が病院を見限ることです。医療は人材が最も重要です。病院のスタッフは、ヘトヘトに疲れて患者さんからも同情される状況にあります。これを防ぐにはどうしたら良いのでしょうか。仲間を護り、育成している日常のベストプラクティスを皆さんに紹介していただき、互いに学びとる場となる学会となることを今回は意図しています。病院の医療を構成する各職場からの建設的な報告、意見を期待しております。

理事会報告(9月)

当協会の平成23年度東京都に対する予算要望は、平成22年7月28日に東京都医師会との検討会を行い、東京都医師会の要望書に反映されて、8月末、東京都医師会の理事会を経て、東京都に提出されました。詳細は、9月号広報紙をご参照ください。

当協会設立以来、初の東京都医師会との懇談会が9月16日に開催され、河北会長をはじめ15名の役員が出席しました。これからの両団体の連携について有意義な意見交換が行われ、新たに発足した東京都、東京都医師会、当協会の三者代表による「民間医療機関連携推進協議会」に対する期待の大きさがうかがわれる会となりました。

東京都医師会病院委員会より、一般病床200床以下の会員病院を対象に「一般病床における在宅及び施設入所者の入院養成及び退院時の受け入れに関する調査」への協力依頼がありました。該当する会員病院各位にはご協力をよろしくお願いいたします。

ほかに、東京都医師会対外広報誌「元気がいいね」の会員病院への配布のお願いがありました。届きましたら待合室等での配布にご協力をお願いいたします。

第6回東京都病院学会運営委員会より、早めの学会参加申し込み、演題登録の申し込みについて、ご協力のお願いがありました。

第五回東京都病院学会に参加して

積極的な院外発表を通して

介護・看護業務のレベルアップを目指す

永生病院 医療療養病棟師長 桑野 妙子氏

当院は、十二年前より症例検討を開始し、年度末に看護部症例発表会を開催している。その中からいくつかの演題は、院内学術集でも発表し、その後、東京都病院学会、東京都療養型病院研究会、全日本病院学会、日本慢性期医療学会、東京精神科病院学会など院外の発表の場で報告している。院外での発表は、実践の客観的な評価が得られ、また発表者の自信や向上心につながる。また学会に参加し、他病院の発表を見聞きすることで、新たな研究や業務改善につなげるなど、看護・介護の質向上につながっている。

看護師は、教育課程でケーススタディとして自己の看護の振り返りを学習するが、介護職は同様の学びの機会がない。そのため、実践をどのような形で検証していくかについて開始当初は混乱が生じていた。症例委員や病棟管理者が指導を行っていく中で、問題解決の方法として、「症例の進め方フォーマット」の作成を試みた。症例のテーマを選択する際には、看護・介護上の問題を抽出し、その中で優先順位をつける。

このようなフォーマットを活用することで、徐々に看護・介護職員は症例を作成しやすくなってきた。さらに、毎年研究・症例をまとめることで、問題意識をもち協働して業務を行うようになった。当初は考察が主観的評価になっただけが多かったが、資料の選択や活用する方法を、症例委員会が中心になり学ぶことで客観的評価が出来るようになった。

当病棟が昨年度、東京都病院学会で発表した「氷枕の効果についての研究」のプロセスを一例に挙げてみる。病棟のスタッフが、発熱時に氷枕を使用する習慣を疑問と感じた事が研究を行うきっかけとなっただけで、最初にアンケート調査や聞き取り調査、文献や院内の外国人職員から情報収集も同時に行い、外国ではほとんど氷枕を使用しないことが判明した。当院は、外国人看護師候補生や外国人職員が多い事から調査対象に外国人職員、医師、看護師、介護職員、家族、それぞれに意識調査を実施した。その結果、氷枕の効果として、医師・看護師は頭部を冷やすことで気持ちよさを与えていると考え、家族は気持ちよさと、頻回に訪室してもらえぬ安心感であると考えていることが明らかになった。この研究結果を勉強会で職員にフィードバックすることで、クリーニング方法を目的別に使い分けることを浸透させることにつながった。

看護部では、病棟目標(BSC)に、看護研究や事例検討を積極的に取り組むことを明確化しており、二年前から看護学校教員を招き症例発表会での講評を依頼し、今年度からは個別指導体制も整えた。

「急性期病院における医療ソーシャルワーカーの役割に関する考察」の発表を通して

南町田病院 地域医療連携 医療相談室 加藤 淳氏

当院は、二〇〇四年十月に設立された百八十床の急性期の医療機関です。私は、現在医療ソーシャルワーカーとして従事しております。去る平成二十二年二月に開催された第五回東京都病院学会においては、「急性期病院における医療ソーシャルワーカーの役割に関する考察」をテーマとし発表いたしました。

内容は、当院の地域医療連携及び医療相談室の組織が出来上がってから一年以上経つことを踏まえ、これまでの取り組みを振り返ることと同時に、今後の活動課題を明確にすることを目的としたものです。

中でも取り組みの重要なポイントとして、早期介入、情報共有、他機関との連携を挙げました。これにより、院内における医療ソーシャルワーカーのポジションがより明確化されたこと、患者・家族、他職種とのコミュニケーションの充実及び、他の医療機関・施設との連携が強化されたことを明らかにしました。

当院は、三名の医療ソーシャルワーカーと二名の地域連携担当者で構成されており、発表に際し、事例内容をス

加えて、積極的な院外発表を通して、部外者からの幅広い意見や情報収集につなげていきたいと考えている。

タッフ全員で考察することにより、これまでの業務内容を改めて総括し振り返る良い機会となりました。

この学会には、医療機関に従事する様々な職種の方々が参加しており、通常行っている医療ソーシャルワーカーや地域連携関係のスタッフだけでなく、医師や看護師など様々な職種の方々の参加者から質疑を得たことは私にとって大変貴重な体験となりました。

更に、発表後、他の医療機関から反響があったことも、大きな収穫となりました。

当学会においては、様々な職種の立場から幅広いテーマで発表が行われており、発表内容についても細かい制限の大きな魅力だと思えます。私自身、そのお陰で「伝えたいことを伝えることが出来た」と感じております。

今後、同僚や後輩に、「発表することの勇氣や感動」を是非体験させたいと思えました。このような発表の機会を得られたことに大変感謝しております。

正会員限定 病院経営者向け事業承継セミナー開催のご案内

日時：2010年12月1日(水) 18:00~20:00 (受付開始17:30~)
会場：東京都医師会館 3F 定員：60名・先着順
対象：正会員 病院経営者さま 講師：公認会計士・税理士 牧 健太郎氏 (牧公認会計士事務所所長)

参加費 無料

主催 みずほ銀行 損保ジャパン (東京都病院協会賛助会員)

※くわしくは、別途正会員さまへご案内のセミナーチラシをご覧ください。
【お問い合わせは】
みずほ銀行 ビジネスソリューション部 マーケティング第一チーム TEL:03-3596-3519
損害保険ジャパン 金融法事部 みずほ室 TEL:03-3349-3224

平成二十二年九月五、十二日 パリ市開催 第三回日仏医療マネージメント研究会

町田慶泉病院 理事長 中西 泉



代表 セルジュ・スマジャ医師
(シッコに出演したSOSメディスンの医師)

「日仏医療マネージメント研究会」の一員として、パリでの一週間滞在視察に参加した。この訪問視察団の団長は伊藤公一院長(甲狀腺専門伊藤病院)、コーディネーターは高橋泰教授(国際医療福祉大学)で今回が三回目である。前二回もパリで視察を行っているが、筆者は、今回初めて参加する。参加者総勢十六人、構成は、病院院長八人その他八人(医療福祉施設経営管理部門、大学研究者など)、となっていた。視察した医療関連施設は以下の如くであった。

九月六日

午前：フランス医療全般についての講義(奥田七峰子氏・日本医師会総合政策)

九月十日

午後：モンスリー病院(パリで評価上位の民間医療機関)

初日のフランス医療全般についての概要説明でもフランスは日本同様、大都市への医師集中と地方での医師不足が問題となっており、解決に苦悩している姿が浮き彫りにされた。しかし、科目別の医師数に関しては、国が決定権を握っており、我が国のような人数の偏在は生じていない。これと表裏一体にあるのが、専門医資格取得の厳し

策研究機構フランス駐在研究員兼医療通訳)

午後：SOSメディスン(電話呼出による民間緊急医療サービス、宅配ドクター)

九月七日

午前：SAMU DE PARIS(フランス救急医療指令センター)

午後：アメリカンホスピタル(外国人および富裕層向け民間非営利病院)

九月八日

午前：公立病院ホテル・デュ(ヨーロッパ最古の病院)

九月九日

午前：大学病院コシャン病院(臨床研修病院)

午後：ジョン・ボンビドー病院(二〇〇二年三病院統廃合により生まれた近代的大病院)

九月十日

午後：モンスリー病院(パリで評価上位の民間医療機関)

初日のフランス医療全般についての概要説明でもフランスは日本同様、大都市への医師集中と地方での医師不足が問題となっており、解決に苦悩している姿が浮き彫りにされた。しかし、科目別の医師数に関しては、国が決定権を握っており、我が国のような人数の偏在は生じていない。これと表裏一体にあるのが、専門医資格取得の厳し

さである。一般医(GP)と専門医の区分は、医学部卒業数年のうちに決定される。成績によって区分けされてきた専門医とGPであったが、近年GPの重要性が再認識され、GPの医学部教授も数人誕生する変化が起こっている。しかし、我が国のように昨日まで病院勤務の専門医が今日から一般医として開業するような形態は、フランスでは見られない。フランスでも、住民登録かかりつけ医制度が二〇〇五年に発足している。病院、かかりつけ医、のほかにHAD(在宅医療制度)があり、この三者が急性期医療を担っている。救急緊急医療に関しては、公的体制としてSAMUがあり、民間の担い手としてSOSメディスンが存在する。

九月六日午後からSOSメディスン見学を始めとし、施設見学に移行した。何れの施設でも発見があり、示唆と刺激に富んでいた。

SOSメディスンは、一九六六年発足の民間緊急医療システム(医療宅配便)である。パリおよび周辺地域で六百万人の人口、百八十人の医師を抱える。一年間の通話件数百万コール。実際に訪れるのが四十万件。六十万件の差は、レギュレーターがトリアーシ、SAMUに送る、話を聞いて終わるなどである。コントロール・センターでのオペレーター医師の電話対応は、老練な感じで、よく訓練されているのが分かった。また外国人の多いパリでの外国人医療問題は、想像していたの

異なり、意外と問題なく処理されている印象を受けた。国際都市としては、東京よりはるか先を歩んでいる長い歴史をもった、パリの一面が感じられた。



SAMUレギュレーション・センター

史をもった、パリの一面が感じられた。

九月七日は、SAMU見学で始まった。パリ市は、山手線の内側の二倍弱の広さ(一〇五・四km²)で、東京都保健医療圏の区西北部あるいは区東部に相当する面積である。人口は、二百二十万人弱である。(都市圏としてのパリは一万四千五百十八km²、人口千二百万人弱。)

SAMUは、日本の救急ドクターカーに相当し、非常に効率の良い活動を行っている。東京都の救急医療体制という観点からも見習う点が多々ない。しかし、対象面積の違いが大きいこと、病院との連携、ドクターカー同乗医師の能力、の三点から我が国への導入には超えるべき課題が大きい。

午後にはアメリカンホスピタルであった。最近言われるようになった、メディカル・ツーリズム、この先鞭をつけた病院であるだけあって患者サービス

東京都病院協会 医療共済制度のご案内

◆新医療保障保険(団体型) (手術特約/特定疾病給付特約/家族特約/家族手術特約/家族特定疾病給付特約)
東京都病院協会では当協会会員病院に勤務されている皆様の福利厚生制度の一環として、当協会独自の医療共済制度を開始いたしました。是非この機会にご加入をご検討頂きますようお願い申し上げます。

問合せ先：アリコジャパン全国法人開発部 担当：渡邊 03-5611-1586
引受保険会社：Alico アリコジャパン アメリカン ライフインシュアランス カンパニー

【お客様相談部】 〒130-0012 東京都墨田区太平 4-1-3 利ヶ丘タワー (0120-880-533)

●詳細は「パンフレット」「ご契約内容(契約概要)」「特に重要なお知らせ(注意喚起情報)」「ご加入のみなさまへ」を熟読いただき、この保険(保障)の内容・金額等がご自身のご意向に合致しているかご確認のうえお申込み下さい。

東京都病院協会 医療共済制度の特徴

- ① お手頃な保険料
- ② 日帰り入院(※1)からお支払い
- ③ 所定の手術(※2)の場合は手術給付金をお支払い
- ④ 最高 69 歳まで加入可能です。
- ⑤ 特定疾病給付特約の付加も可能です。(所定の条件がございます。)

(※1)入院日と退院日が同一の入院を日帰り入院といい、入院基本料のお支払いの有無などにより判断されます。外来で病院のベッドを使用して透析・点滴・手術を行なった場合や、単なる覚醒・休養などが目的の場合は「日帰り入院」とはみなされません。
(※2)単なる縫合(傷口を縫う)処置、皮膚の良性腫瘍の摘出術、手足の指の骨折手術などお支払対象にならない手術があります。お支払対象となる手術については「ご加入のみなさまへ」をご覧ください。

事務管理部会研修会のご案内
主題「病院職員のための接遇」

日時：平成22年11月26日(金)
午後2時~4時30分
会場：東医健保会館
(JR信濃町駅 徒歩5分)

講師：赤尾英子氏
(オフィス・マイルス代表・講師)
会費：会員3,000円 非会員6,000円
定員：先着100名
(定員になり次第、締切らせていただきます)

【連絡・申込み先】東京都病院協会事務局
TEL：03-5217-0896



参加者全員 コンシャン病院臨床教授とともに

は大変優れている。人種、文化、が出会い、垣塙となるとここで医療文化も発展を遂げるのである、と感ぜられた。

九月八日午前公立病院ホテル・デユ。ヨーロッパ中世病院医療が始まった場所であり、歴史の重さが随所に感じられたが、今やその重さに将来を悩んでいる病院もある。今後統廃合により、パリの公立病院は、幾多の試練を乗り越えねばならない、と語る経営責任者

の真剣な眼差しが印象的であった。

九月九日午前コンシャン病院。大学病院の一つであり、GPが教授陣の一角を占める、ユニークな病院である。GPとして開業しながら大学病院での研修教育にも携わっているとのこと、思い切ったことに挑戦してゆくフランス医療の姿をここでも垣間見ることができた。世界規模でGPの重要性が高まっているのがひしひしと感ぜられた。

午後ジョン・ボンビドー病院。ヨーロッパを代表する近代的病院であり、その一方ADRで有名となった病院でもある。ADR室長の話は、いずれの国でも増大する患者の権利意識に医療側の相克の厳しさを感じさせるもので、大変有益であった。

短期間、それもパリだけの医療視察であったが、印象的だったのは、新しいことに対する挑戦者精神と医療への知恵をよく出している取り組みである。締めるところは締めるが、一方で緩いところで知恵を出させる、そのよ

うな気風が感じ取られた。

フランス医療の詳細については、高橋泰教授の社会保険旬報論文(二〇〇八年十月~十二月)が大変優れた内容となっており、一読を勧めたい。

平成二十二年度 東京都・文京区合同総合防災訓練開催
医療救護活動に当協会より
十四病院・六十九名が参加

九月一日の「防災の日」を前に、東京都と文京区は八月二十九日(日)、首都直下型地震を想定した合同防災訓練が実施されました。

「午前七時頃、東京湾北部を震源とする強い地震が発生。区部の広い範囲で震度六弱以上を記録した。」

午前九時、都庁内に設けられた災害対策本部で地震の概要が報告されると、石原都知事は「都の各局は、迅速に対応して、被害者の救出・救護、安全の確保に全力で取り組んでいただきたい」と指示しました。

医療救護活動の訓練は、文京区都立小石川高校・中等教育学校の校庭で、そこには都の救急災害医療担当者、地元医師会の医療スタッフを中心に、医療関係団体が総勢千人近くが集合、当協会から十四病院・六十九名が参加しました。

ちなみに、参加病院は(順不同)永寿総合病院、京葉病院、板橋中央総合病院、永生病院、いずみ記念病院、第三北品川病院、調布病院、江東病院、清智会記念病院、南町田病院、平成立石病院、町田慶泉病院、白鬚橋病院、松江病院でした。ご苦労さまでした。

ご存知の通り、記録的な猛暑が連日続いている中、訓練当日も早朝から三十度を超える猛暑となつて、厳しい日射とともに、校庭から舞い上がる土煙の中で、様々な訓練が展開されました。

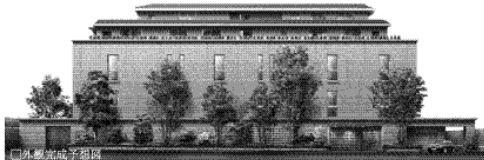
参加者の中には熱中症となつて倒れた人も出て、本物の救急活動となつた場面もありました。

訓練は、例年通り「傷病者の一次二次トリアージ」「軽傷者の医療処置」「重症者、中等症者の医療処置」「傷病者の担架搬送」「重症者の後方医療施設搬送」等が実施されました。

例年と較べて、特段目新しいことはありませんでしたが、新しい試みとしては、「多数の予備自衛官の参加があったり」「傷病者役には例年の看護学校生徒に加えて小石川高等学校の生徒(五十名)に引き受けていただいたり」「医療者のトリアージ研修会に歯科医師、柔道整復師の参加も加えたり」「急病人が発生した時のAEDの講習会を実施したり」等々、例年の反省点なども見直しながら、より充実した訓練が展開されました。特に目立ったことは、地元医師会、地元歯科医師会等の活躍でした。これは「日本医師会」MAT(Japan Medical Association Team)の創設に向けた広報活動に誘因されているものと想像します。

災害は、まず自助。次に共助があつて、初めて国や都の公助が生きて来ます。医療機関にもできる限りの力を尽して災害に備える必要性を感じる一日となりました。

PROUD
ブラウド市ヶ谷南町
市ヶ谷、飯田橋、神楽坂の交点。
4駅6路線利用可。



■「ブラウド市ヶ谷南町」予告物件概要 ●所在地/東京都新宿区南町12番(地番) ●交通/都営大江戸線「牛込神楽坂」駅徒歩6分、南北線・有楽町線「市ヶ谷」駅徒歩9分、南北線・有楽町線・東西線・都営大江戸線「飯田橋」駅徒歩10分、JR総武線「飯田橋」駅徒歩11分、東西線「神楽坂」駅徒歩11分、JR総武線・都営新宿線「市ヶ谷」駅徒歩14分 ●用途地域/第1種中高層住居専用地域、準防火地域、第2種高度地区 ●総戸数/42戸 ●販売戸数/未定 ●敷地面積/1,573.77㎡ ●建築面積/943.76㎡ ●建築延床面積/4,621.97㎡ ●構造・規模/RC造地上5階・地下1階建 ●間取り/2LDK~3LDK ●専有面積/59.72㎡~87.35㎡ ●予定最価格帯/未定 ●予定販売価格/未定 ●管理費等/未定 ●建築確認番号/第H22普及協会00028号(平成22年4月22日付) ●管理形態/区分所有者全員により管理組合を結成していただき、運営・管理業務は野村リビングサポート株式会社に委託予定 ●分譲後の敷地の権利形態/専有面積割合による所有権の共有 ●売主/野村不動産株式会社 国土交通大臣(11)第1370号(社)不動産協会会員(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 本社/〒163-0566 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル ●設計・施工/野村建設工業株式会社 ●設計/株式会社秀建築研究所 ●建物竣工予定時期/平成23年8月下旬 ●入居予定時期/平成23年9月下旬 ●販売予定時期/平成22年10月下旬 ●販売戸数については本広告発表時点では表示させていただきます。 ※本広告に掲載の完成予想図は計画段階の図面を基に描いたもので、実際とは多少異なります。また外観の設備機器等につきましては、表現上省略しています。尚、植栽は特定の季節を示すものではなく、竣工時には完成予想図程度には成長しております。